

第24期 決算公告

2023年6月15日

岩手県西磐井郡平泉町平泉字上徳沢 65

株式会社フタバ平泉

代表取締役社長 新實 泰生

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

単位：円

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|-----------------|----------------------|------------------|----------------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 4,499,015,408 | 流動負債 | 4,771,752,504 |
| 現金及び預金 | 220,356,929 | 買掛金 | 3,421,287,206 |
| 売掛金 | 3,122,827,616 | 1年内長期借入金 | 400,000,000 |
| 製品 | 143,339,059 | 未払金 | 248,766,383 |
| 原材料 | 32,396,978 | 未払費用 | 292,591,610 |
| 仕掛品 | 409,772,234 | 仮受金 | 12,241,805 |
| 貯蔵品 | 111,240,800 | 未払法人税等 | 396,865,500 |
| 未収入金 | 458,832,475 | | |
| その他流動資産 | 249,317 | | |
| 固定資産 | 4,233,741,531 | 固定負債 | 282,076,700 |
| 有形固定資産 | 4,050,146,520 | 退職給付引当金 | 282,076,700 |
| 建物 | 2,116,583,590 | | |
| 構築物 | 190,937,918 | | |
| 機械及び装置 | 889,400,152 | 負債合計 | 5,053,829,204 |
| 車両運搬具 | 14 | | |
| 工具器具備品 | 250,487,945 | (純資産の部) | |
| 土地 | 592,900,288 | 株主資本 | 3,678,927,735 |
| 建設仮勘定 | 9,836,613 | 資本金 | 495,000,000 |
| 無形固定資産 | 25,121,180 | 資本剰余金 | 2,147,056,411 |
| ソフトウェア | 24,729,178 | 資本準備金 | 495,000,000 |
| その他 | 392,002 | その他資本剰余金 | 1,652,056,411 |
| 投資その他の資産 | 158,473,831 | 利益剰余金 | 1,036,871,324 |
| 繰延税金資産 | 158,022,831 | その他利益剰余金 | 1,036,871,324 |
| ゴルフ会員権 | 330,000 | 繰越利益剰余金 | 1,036,871,324 |
| その他 | 121,000 | | |
| | | 純資産合計 | 3,678,927,735 |
| 資産合計 | 8,732,756,939 | 負債及び純資産合計 | 8,732,756,939 |

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産

製品・原材料・仕掛品・貯蔵品は主として総平均法による原価法（貸借対照表価格については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により評価しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物については、定額法によっております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、耐用年数及び残存簿価については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、当社は退職給付債務の計算においては簡便法を採用し、自己都合退職の当事業年度末における要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、主に自動車等車両部品の製造販売を行っております。顧客との販売契約において、受注した製品を納入する義務を負っております。原則として、製品の検収時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得し、当社の履行義務が充足されると判断していることから、製品の検収時点で収益を認識しております。なお、代金は取引先との契約に基づき、概ね1ヶ月以内に回収しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

連結納税制度からグループ通算制度への移行

当社は、当年度期首より連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

会計方針の変更に関する注記

該当事項はありません。

貸借対照表に関する注記

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 7,719,621,970 円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務 | |
| 短期金銭債権 | 3,223,627,034 円 |
| 短期金銭債務 | 3,095,259,953 円 |

損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

| | |
|-----------------|------------------|
| 売上高 | 24,092,013,424 円 |
| 仕入高 | 18,838,546,289 円 |
| その他 | 246,626,669 円 |
| 営業取引以外の取引による取引高 | 3,834,324 円 |

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行株式の種類及び株式数に関する事項

当事業年度末の発行済株式の種類及び総数 普通株式：10,000株

2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

該当事項はありません

3. 配当に関する事項

① 配当金支払額

| | |
|----------|--------------|
| 株式の種類 | 普通株式 |
| 配当金の総額 | 160,000,000円 |
| 1株当たり配当額 | 16,000円 |
| 基準日 | 2022年3月31日 |
| 効力発生日 | 2022年6月20日 |

② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

| | |
|----------|----------------|
| 株式の種類 | 普通株式 |
| 配当金の総額 | 1,036,000,000円 |
| 1株当たり配当額 | 103,600円 |
| 基準日 | 2023年3月31日 |
| 効力発生日 | 2023年6月16日 |

1株当たり情報に関する注記

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 367,892円77銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 103,621円57銭 |

税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、未払費用、減価償却、退職給付引当金等であり、評価性引当金を控除しております。

重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

関連当事者との取引に関する注記

親会社及び主要株主等

| 種類 | 会社等の 名称 | 議決権等の 所有（非所有者） 割合（%） | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 （円） | 科目 | 期末残高 （円） |
|-----|---------------|----------------------------|---------------|-----------------|----------------|-------|---------------|
| 親会社 | フタバ産業 株式会社 | 100% | 当社製品の 販売先 | 自動車部品の販売 | 24,084,129,856 | 売掛金 | 3,121,419,836 |
| | | | | 材料集中購買代他 | 335,531,471 | 未収入金 | 100,799,418 |
| | | | | 資金の借入 | 975,000,000 | 短期借入金 | 0 |
| | | | | 原材料および 部品の購入 | 18,838,546,289 | 買掛金 | 2,920,776,444 |
| | | | | 固定資産の 取得 | 435,028,256 | 未払金 | 0 |
| | | | | フタバ管理費 | 201,677,750 | 未払費用 | 27,857,044 |

（注）1.取引金額は消費税等抜きで表示し、期末残高は消費税込で表示しております。

2.取引条件ないし取引条件の決定方針等

- ① 自動車部品については、市場価格、総原価を勘案して、当社希望価格を提示し、価格交渉のうえ、決定しております。
- ② 原材料及び部品の購入については、フタバ産業株式会社の設定価格によっております。
- ③ CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）による取引であり、取引金額は、期中の平均残高を記載しております。また、借入金の利率については、市場金利を勘案して交渉のうえ、決定しております。
- ④ フタバ管理費は親会社より提示された両立を基礎として每期交渉のうえ、決定しております。

金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、自動車部品の販売製造を行うための設備投資計画に照らして、必要な資金や短期的な運転資金の借入れ、また余資の運用をフタバグループのCMSにて行っています。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、顧客は親会社でありリスクは低いと考えられます。営業債務である買掛金は、1年以内の支払期日です。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスク（取引先の契約不履行に係るリスク）の管理

営業債権については、取引先である親会社と定期的に残高を管理しております。

② 資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社では、総務経理課が適時に資金繰り計画を作成・更新することにより、資金調達に係る流動性リスクを管理しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

現金及び預金、売掛金、買掛金、短期借入金は短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しております。